

English below

利用規約

第1条(目的)

本規約は、当校が提供する講座および関連サービス(以下「本サービス」といいます)の利用条件を定めるものです。

受講生は、本規約に同意のうえ、本サービスを利用するものとします。

第2条(適用範囲)

本規約は、当校と受講生との間の本サービスに関する一切の關係に適用されます。

第3条(登録情報)

1. 受講生は、登録にあたり正確かつ最新の情報を提供するものとします。
2. 登録情報に変更があった場合は、速やかに当校へ届け出るものとします。
3. 虚偽または不正確な情報の登録が確認された場合、当校は利用の制限または停止を行うことがあります。

第4条(本人確認)

当校は、必要に応じて本人確認書類の提示を求めることがあります。

受講生はこれに応じるものとします。

第5条(禁止事項)

受講生は、以下の行為を行ってはなりません。

- ・他の受講生、講師、関係者に対する迷惑行為
- ・過度な連絡、執拗な問い合わせ、不適切なコミュニケーション
- ・虚偽の申告や誤解を招く情報の発信
- ・当校または第三者の名誉や信用を毀損する行為
- ・学習環境や運営を妨げる行為
- ・ハラスメント行為(暴言、威圧的言動、差別的発言、性的言動、不必要な身体接触、つきまとい、SNS等での誹謗中傷を含むがこれらに限られない)
- ・当校の許可なくレッスンの録音・録画・撮影を行う行為
- ・当校または関係者の許可なく、レッスン内容や写真・動画・音声等を外部に公開する行為
- ・その他、当校が不適切と合理的に判断する行為

第6条(対応措置)

当校は、前条に該当する行為が確認された場合、以下の対応を行うことがあります。

- ・注意または指導
- ・連絡手段の制限または一本化
- ・一部サービスの利用制限
- ・受講形態の変更(個人レッスン等への移行提案を含む)
- ・受講の一時停止または終了(除籍を含む)

当校は、事案の内容に応じて、受講生への事前通知なく措置を講じることができます。

また、必要に応じて弁護士、警察、関係機関等と連携する場合があります。

第7条(連絡方法)

1. 本サービスに関する連絡は、当校が指定する方法により行うものとします。
2. 当校は、連絡方法の一本化または制限を行う場合があります。
3. 受講生は、指定された方法以外での連絡を控えるものとします。

第8条(個別対応の制限)

当校は、個別の要望や申し入れについて、内容や状況に応じて対応を行いますが、すべての要望に応じる義務を負うものではありません。

第9条(支援範囲および外部専門機関の利用)

当校は、受講生が安心して学べる環境の提供に努めますが、医療行為、心理療法、継続的な精神的ケア等の専門的支援を提供する機関ではありません。

受講生の心身の状態に関して、当校において十分な対応が困難であると合理的に判断される場合、当校は外部の医療機関、カウンセリング機関その他の専門機関の利用を提案することがあります。

また、受講生の状態が、本人の安全または他の受講生・講師・関係者の安全や学習環境に影響を及ぼすおそれがあると当校が判断した場合、当校は、受講形態の変更、受講の一時停止または終了(除籍を含む)等の措置を講じることができます。

第10条(安全管理およびハラスメント対応)

当校は、受講生および関係者の安全と学習環境の維持を最優先とします。

当校は、身体的・精神的・性的・社会的な不利益を与えるハラスメント行為を一切容認しません。

演技指導上必要な身体接触や表現指導については、合理的範囲内で行われるものとし、受講生の尊厳および安全に十分配慮されるものとします。

受講生は、不安や問題が生じた場合、速やかに当校へ相談するものとします。

第11条(外部対応および第三者接触の制限)

受講生は、本サービスに関連する問題について、当校への事前の相談なく、第三者へ直接連絡・接触を行ってはなりません。

ただし、当校の講師または運営者が関与する事案についてはこの限りではありません。当校は、必要に応じて対応窓口を一本化し、個別の直接連絡を制限することがあります。

第12条(撮影・広報利用・SNS)

1. 当校は、レッスン風景や活動の様子を写真・動画等で撮影することがあります。
2. 当該撮影物は、当校の広報(ウェブサイト、SNS、パンフレット等)に使用されることがあります。
3. 受講生は、本サービスの利用にあたり、当該利用についてあらかじめ同意するものとします。
4. ただし、受講生から個別に申し出があった場合、当校は合理的範囲で配慮を行います。

第13条(受講環境維持および適性判断)

当校は、受講生の学習状況、出席状況、他の受講生への影響等を総合的に判断し、クラス運営に支障があると認めた場合、以下の措置を講じることができます。

- ・受講形態の変更(個人レッスン等の提案)
- ・クラス変更の提案
- ・受講の制限または終了(除籍を含む)

第14条(料金・返金・キャンセル)

1. 受講料は、当校が定める期日までに支払うものとします。
2. 一度支払われた受講料は、原則として返金されません。
3. やむを得ない事情により受講が困難となった場合、当校は個別に判断し、振替または一部返金等の対応を検討することがありますが、これを保証するものではありません。
4. 受講生都合によるキャンセル・欠席については、原則として振替・返金は行いません。
5. 当校都合による休講の場合は、振替または相当分の対応を行います。

第15条(個人情報情報の取扱い)

個人情報情報の取扱いについては、別途定める「個人情報保護方針」に従うものとします。

第16条(免責事項)

当校は、本サービスの利用に関連して生じた損害について、当校の故意または重過失による場合を除き、責任を負いません。

第17条(規約の変更)

当校は、必要に応じて本規約を変更することがあります。
変更後の規約は、当校が適切と判断する方法により通知または公表します。

第18条(準拠法・管轄)

本規約は日本法に準拠し、本サービスに関して生じる紛争については、当校所在地を管轄する裁判所を専属的合意管轄とします。

附則

本規約は、2026年5月1日より施行します。

Terms of Service

Article 1 (Purpose)

These Terms set forth the conditions for use of the courses and related services (the “Services”) provided by the School.

Students shall use the Services upon agreeing to these Terms.

Article 2 (Scope of Application)

These Terms apply to all relationships between the School and students in connection with the Services.

Article 3 (Registration Information)

Students shall provide accurate and up-to-date information upon registration.

Students shall promptly notify the School of any changes to their registered information.

If false or inaccurate information is identified, the School may restrict or suspend use of the Services.

Article 4 (Identity Verification)

The School may request identification documents when necessary.

Students shall comply with such requests.

Article 5 (Prohibited Conduct)

Students shall not engage in the following acts:

Acts that disturb or inconvenience others

Excessive or persistent communication or inappropriate conduct

Providing false or misleading information

Damaging the reputation of the School or third parties

Disrupting the learning environment or operations

Harassment (including but not limited to abusive language, intimidation, discrimination, sexual conduct, unnecessary physical contact, stalking, or defamation via social media)

Recording or filming lessons without permission

Publishing lesson content or media without permission

Any other acts deemed inappropriate by the School on reasonable grounds

Article 6 (Measures)

The School may take the following actions if prohibited conduct is identified:

Warnings or guidance

Restriction of communication methods
Partial restriction of Services
Change of lesson format
Suspension or termination of enrollment
Such measures may be taken without prior notice.
The School may cooperate with legal or public authorities when necessary.

Article 7 (Communication Methods)

Communications shall be made through methods designated by the School.
The School may restrict or consolidate communication channels.
Students shall not use unauthorized communication methods.

Article 8 (Limitations on Individual Requests)

The School may respond to individual requests at its discretion but is not obligated to accommodate all requests.

Article 9 (Scope of Support and External Professional Services)

The School strives to provide a safe learning environment but does not provide medical treatment, psychotherapy, or ongoing mental health care.
If the School reasonably determines that it cannot adequately address a student's condition, it may recommend external professional services.
If a student's condition may affect safety or the learning environment, the School may restrict or terminate participation.

Article 10 (Safety and Harassment Policy)

The School prioritizes safety and a healthy learning environment.
Harassment of any kind will not be tolerated.
Necessary physical instruction will be conducted within reasonable limits with respect for dignity.
Students should promptly report concerns.

Article 11 (External Contact Restrictions)

Students shall not contact third parties regarding issues without prior consultation with the School, except in cases involving the School itself.
The School may centralize communication channels.

Article 12 (Media and Publicity)

The School may record lessons and use such materials for promotional purposes. Students consent to such use unless otherwise requested.

Article 13 (Learning Environment and Suitability)

The School may assess participation suitability and take necessary measures including restriction or termination.

Article 14 (Fees and Refunds)

Fees are non-refundable in principle. Exceptions may be considered at the School's discretion.

Article 15 (Personal Information)

Handled in accordance with the School's Privacy Policy.

Article 16 (Disclaimer)

The School is not liable except in cases of willful misconduct or gross negligence.

Article 17 (Amendments)

The School may revise these Terms as necessary.

Article 18 (Governing Law and Jurisdiction)

These Terms are governed by Japanese law. Disputes shall be subject to the exclusive jurisdiction of the court with jurisdiction over the School's location.

Supplementary Provision
Effective May 1, 2026